

単元の配列例

単元の配当時間を長くし、選択できる単元は5年6年のどちらかで扱うよう配列した。ただし、器械運動のマット運動については鉄棒運動・跳び箱運動へとつながる単元のため、両方の学年で扱うよう配列してある。

陸上競技の4種目はそれぞれ2種目ずつ分けて配列した。

表現運動については5年生で表現、6年生でフォークダンスとリズムダンスを行うように単元を配列した。

ボール運動については、5年生でサッカーとソフトバレーボール、6年生でバスケットボールとその他のボール運動を配列した。サッカーとバスケットボールについては配当時間を多くとっている。5・6年生のどちらかでサッカーとバスケットは指導することとなっているが、従来通り5年6年の両方でサッカーとバスケットボールの両方を指導することもできる。ソフトバレーボール(またはソフトボール)とその他のボール運動については学校や地域の実態に合わせて扱うこととなるので、その時間については学校ごとに弾力的に扱っていくものとする。

以下に示す配列はあくまでも一例である。学年間でも入れ替え可能な領域については、「内容の取り扱い」の項を参考にしながら、児童の実態や地域の特性、教師や施設・用具など学校の諸条件に合わせて、単元を配列しなおし、指導に当たることとする。

第 5 学 年			第 6 学 年		
学期	単 元 名	時 間	学期	単 元 名	時 間
一 学 期 3 1 時 間	オリエンテーション ○短距離走・リレー ○マット運動 ○鉄棒運動 ○保健「けがの防止」 ○水泳	1 6 5 6 4 1 0	一 学 期 3 1 時 間	オリエンテーション ○体ほぐしの運動 ○ハードル走 ○マット運動 ○跳び箱運動 ○水泳	1 4 7 5 6 1 0
	二 学 期 3 6 時 間	○水泳 ○体ほぐしの運動 ○表現 ○走り幅跳び ○保健「心の健康」 ○ソフトバレーボール ○体力を高める運動(持久走)		4 8 7 4 9 3	二 学 期 3 6 時 間
三 学 期 2 3 時 間	○サッカー ○体力を高める運動 (リズム体操・トレーニング体操) 5年生のまとめ	1 4 8 1	三 学 期 2 3 時 間	○バスケットボール ○体力を高める運動 (リズム体操・トレーニング体操) 6年生のまとめ	1 4 8 1
合計	標準時間数 9 0	9 0	合計	標準時間数 9 0	9 0